



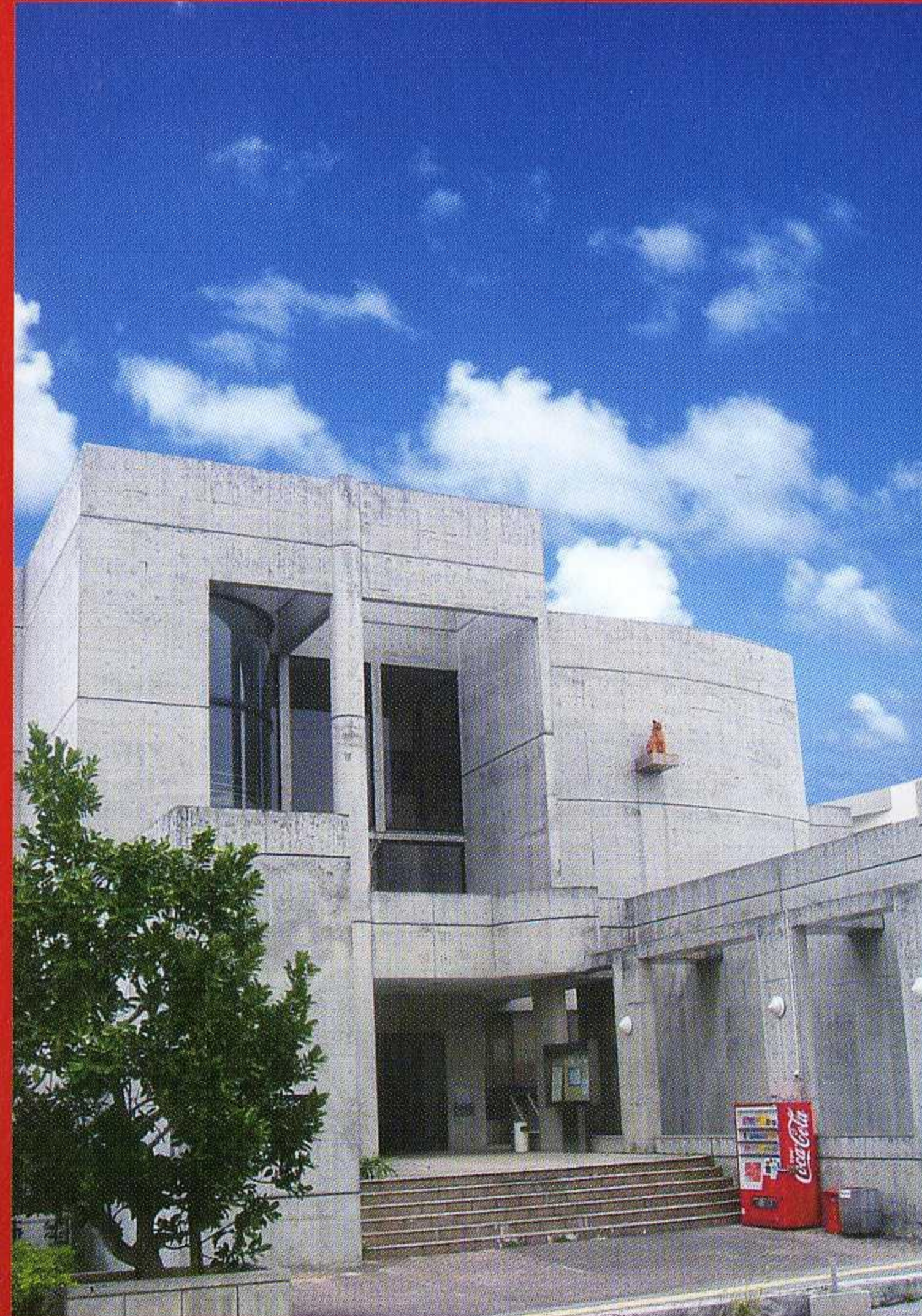
石川から始まった  
戦後の沖縄を  
多角的に展示。

戦後の沖縄行政の出発点、沖縄諮詢会、県立博物館の前身の東恩納博物館、戦後初の小学校、終戦直後の松竹梅の劇団、米軍服、HBTの更生衣料、2×4の材木で造った規格住宅、カンカラ三線等、戦後の政治・経済・教育・文化・生活の発祥地ならではの資料、写真を展示。同時に戦前からの沖縄の衣・食・住に関する生活用具、農・漁具、衣類、葬制、民俗芸能などの民俗

石川歴史民俗資料館 住所 ■うるま市石川曙2丁目1番55号  
電話 ■098-965-3866 FAX ■098-965-3866  
交通 ■21番、75番、石川公民館前下車、徒歩5分

うるま市立

石川歴史民俗資料館



利用案内

開館時間 / 午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分)  
入場料 / 無料  
休館日 / 月曜日、公休日の翌日  
(月曜日と公休日が重なるとその翌日)  
12月29日～1月3日、6月24日

うるま市立石川歴史民俗資料館

〒904-1107うるま市石川曙2丁目1番55号  
☎098-965-3866 ☎098-965-3866  
www.city.uruma.lg.jp

交通 / 21番、75番、石川公民館前下車、徒歩5分

開館 / 昭和57年4月1日  
新館開館平成4年7月22日  
(1階図書館、2階資料館の複合施設)  
平成17年4月1日、合併により名称変更  
敷地面積 / 2,465.980㎡  
構造 / 鉄筋鉄骨中空スラブ構造コンクリート、  
地下1階地上3階建  
建築面積 / 3,324.199㎡ 延床面積 / 3,338.166㎡  
資料館占有面積 / 1,234㎡



資料の展示。また、合併によりうるま市となった市域(旧具志川、旧勝連、旧与那城)に関する歴史や民俗の資料の収集、調査・研究、展示、教育普及を行う。